

「プレスネット」(vol.903)
平成 30 年 4 月 26 日掲載



「西条町内で5層を超す最大の石碑はどこにある?」「酒蔵通りの魅力をさらにアップする方法は?」「イスラム教徒の家族との接し方は?」こんな疑問に学生たちが答えてくれている。



地域課題研究懸賞論文①



ガイドマップ「巨大石碑を発見せよ! in西条」。この他の受賞論文もインターネットで公開されている

学生が地域の人と触れ合う機会

3月中旬、地域の課題を研究した成果を競う「地域課題研究懸賞論文」受賞者の発表会と表彰式が市役所で行われた。この事業は、東

広島市と地域の大学で構成する学園都市づくり交流会議が主催するもので、全国の他の自治体には見当たらない東広島市の事業だ。今回で第10回目を迎え、10周年にふさわしい力作が13編も学生たちから寄せられた。

平成29年度の最優秀賞(賞金20万円)は、広島大学大学院教育学研究科の今井貴秀さんと横川知司さんの論文「西条石碑巡りガイドマップの開発〜東広島市西条町内509基の石碑調査を通して〜」だった。二人は

1年半をかけて西条町内のほぼ全ての石碑を訪ね、その建立の時期や目的、特性などから8種類に分類した。この研究をもとに「西条の農業関連碑を巡る〜地域の営み、歴史を知ればもつと西条を好きになる〜」「さがしてみよう! 西条町内蔵選石碑散歩マップ」「酒都西条の歴史と文化の再発見〜石碑から見る地域の発展〜」「巨大石碑を発見せよ! in西条の4種の西条石碑巡りガイドマップ」を作製した。いずれも学校教育、生涯学

習、観光案内にすぐ使える優れ物だ。

地域課題研究は、学生たちにとっては東広島市で生きた証となり、地域の人たちと触れ合う貴重な機会となる。今年もまた多くの学生が地域の課題を探しに市内を歩き回るであろう。そのような学生を見掛けたらぜひ、応援していただきたい。



過去の記事

広島大学マスタースは、広島大学を退職した教職員で組織しています。市民を対象にした講座も行っています。
【問い合わせ】
kazuwp@hiroshima-u.ac.jp(渡部)